

婚礼事業 レストラン・ホテルと化学反応

エスクリ 渋谷 守浩社長

人口減少や挙式・披露宴の簡素化による逆風下のブライダル業界で、成長を続けるのが「エスクリ」だ。

4月にはリクルート出身の創業社長、岩本博氏が会長に就き、副社長の渋谷守浩氏が社長に昇格した。渋谷氏はもともと奈良県にある家業の建設会社の4代目で、エスクリのグループ会社となったのを機にエスクリ経営陣に加わり、トップに就いた。異業種出身の経営者のかじ取りに注目が集まる中、結婚式の披露宴会場をレストランにも活用するなど新機軸を打ち出している。

—家業の建設会社「渋谷」の経営者が、なぜブライダル事業会社のトップに

「当社（渋谷）でエスクリの結婚式場などの内装工事を一手に引き受けていたのでブライダ



ル業界にはなじみがあり、岩本会長からも評価されていた。他社から買収提案を受けた際、岩本会長からエスクリの子会社となるよう提案された。エスクリの経営陣に加わり一緒に仕事をすることになった。

しぶたに・もりひろ 修成建設専門学校（大阪市）卒。別の建設会社を経て、1986年、渋谷木材工業（現・渋谷）入社。社長に就任し、2015年から会長。渋谷がエスクリのグループ会社となった13年、エスクリの執行役員に就き、副社長を経て、16年4月から社長。50歳。奈良県出身。

—それにしても畑違いでは「どんな会社でも、経営に求められるものは共通している部分がある。ブライダル業界での経験は浅いかもしれないが、お客さま目線で新しい化学反応を起こしたい」

—どのようなビジネスを「事業はブライダル、レスト

ラン、ホテルの3本柱。本業のブライダルを守りつつ、それ以外をどう展開していくかが重要だ。結婚式場は遠方から訪れやすい立地にこだわっているほか、高層ビル内の『天空のチャペル』といったコンセプトを明確に打ち出している」

—レストランが伸びている「外資系ホテルでレストランと宴会場を担当していたスタッフを迎え入れ、事業拡大に弾みがついた。平日はほとんど使われない披露宴会場をレストランとして活用している。より多くのお客さまに喜んでもらえ、食材の仕入れなどのノウハウも生かすことができ、経営的に無駄がない。2016年3月期のレストラン事業の売り上げは、前期比40%増と伸び盛りだ」

—可能性が広がる

「エスクリの社名の由来はスタッフ・クリエイト。自社のスタッフではほとんどの職種を賅うことで、高品質のサービス提供を目指す。『エスクリの商品はワクワクする』と言ってもらえるように、みんなで力を合わせてやっていきたい」

■会社概要

- ▷本社—東京都港区西新橋2-14-1
- ▷設立—2003年6月
- ▷資本金—5億8497万円
- ▷従業員—約1000人（パート・アルバイト除く）
- ▷事業内容—挙式・披露宴の企画・運営